

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
地域理学療法学		必修	2	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
三科 貴博	D317	t-mishina	火曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	理学療法は病院に入院している患者のみならず、地域で生活している方も対象になる。地域で生活する方の生活自立支援が行えるように、地域理学療法学では、同時双方向型授業を通して介護保険をはじめとした法制度を学び、地域での理学療法における福祉用具の導入方法、各疾患における評価・介入・リスク管理を説明できることを目的とする。まず地域の概念について講義しその後、各授業で提示された模擬症例に対するディスカッション・グループワークを行い地域理学療法の具体的な内容について理解を深める。				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・イベント <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	模擬症例に対するディスカッション・グループワーク等を活発に行うために、指定された授業範囲の予習をしておくことが望ましい。				
教科書	特になし。				
参考書	特になし。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	地域医療に必要な介護保険等に関する知識を習得し、法制度を説明することができる。			PT (1) ~ (4) 、 (6)	
②	地域医療の社会資源、福祉関連用具に関する知識を習得し、導入方法を説明できる。			HSU(1)~(3) 、 PT (1)	
③	各疾患、ステージ施設入所などにおける対象者の理学療法評価や介入方法について説明できる。			HSU(2)~(3) 、 PT(1)~(6)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	地域の高齢者の身体的・精神的変化の特徴を学修する。	同時双方向型授業	高齢者の各種変化を復習する。	4	
2	地域の高齢者を取り巻く環境を学修する。	同時双方向型授業	高齢者の環境を復習する。	4	
3	地域包括ケアシステムについて学修する。	同時双方向型授業	地域包括ケアシステムを中心に講義内容を復習する。	4	
4	介護保険の仕組みについて学修する。	同時双方向型授業	介護保険のシステムを復習する。	4	
5	介護保険下における理学療法士の職域拡大について GW で検討し発表する。	同時双方向型授業	介護保険の矛盾点など復習する。	4	
6	フレイル (虚弱) に対する理学療法評価および理学療法介入について学修する。	同時双方向型授業	フレイルについて講義内容を復習する。	4	
7	高齢者の神経疾患 (脳卒中等) に対する地域における理学療法評価および理学療法介入を学修する。	同時双方向型授業	地域での中枢神経系疾患のリハビリを復習する。	4	
8	整形外科疾患 (骨折等) に対する地域における理学療法評価および理学療法介入について学修する。	同時双方向型授業	地域での運動器系疾患のリハビリを復習する。	4	
9	内科疾患 (慢性呼吸不全等) に対する地域における理学療法評価および理学療法介入について学修する。	同時双方向型授業	地域での内科系疾患のリハビリを復習する。	4	
10	認知症に対する地域における理学療法評価および理学療法介入について学修する。	同時双方向型授業	地域での認知症アプローチを復習する。	4	
11	通所リハビリテーションにおける理学療法評価および理学療法介入について学修する。	同時双方向型授業	通所リハの在り方を復習する。	4	
12	訪問リハビリテーションにおける理学療法評価および理学療法介入について学修する。	同時双方向型授業	訪問リハの在り方を復習する。	4	
13	施設入所者の理学療法評価および理学療法介入について学修する。	同時双方向型授業	介護老人保健施設等の在り方を復習する。	4	
14	終末期リハビリテーションにおける理学療法評価および理学療法介入について学修する。	同時双方向型授業	終末期のリハを再考する。	4	
15	これまでの講義の総括	同時双方向型授業	第 1~14 回の講義内容を復習する。	4	

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

試	定期試験 到達度評価・評価のポイント参照		
---	----------------------	--	--

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		100	0	0	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	100	0	0	0	0	100
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
問題を発見・解決する力		0	0	0	0	0	0

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①	✓	講義で使用了た配布資料やスライドをもとに、理解度を問う定期試験を行い評価する。問題形式は選択式とする。	必要に応じて試験の解答を提示し、解説をする。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			

備 考

他 担 当 教 員	なし
教員の実務経験	理学療法士として医療機関及び介護保険関連施設にて8年間の臨床経験を有する。
実践的授業の内容	理学療法士として医療機関及び介護保険関連施設で勤務経験を有する教員が地域理学療法に関する評価から治療、環境整備、リスク管理の流れに関する基本知識と技能を教授する。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>同時双方向型授業では Teams を使用予定で、授業時は通信容量が無制限の Wi Fi 環境を推する。</li> <li>今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある可能性がある。</li> </ul>